

西中だより

平成28年度 No.30
平成29年 2月 日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 今年度最後の授業参観ありがとうございました &&&

- 9日(木)は雪の降る中、平成28年度最後の授業参観において頂きありがとうございました。各学年では、生徒が成長した姿を保護者の皆様に見ていただこうと、この時期に相応しい授業を提案しました。感想はいかがだったでしょうか。【各学年の様子を写真で紹介します!】



※お知らせ※ 平成27・28年度の2年間、つたない内容の学校だよりをお読みいただきありがとうございました。学校だよりを書かせて頂くことで、私なりに生徒の成長を肌を感じ取ることができ、先生方の苦労を理解することができました。そして、保護者の皆様の温かいお気持ちと学校に寄せる信頼と期待を感じ取ることができました。心から感謝と御礼を申し上げます。今回の30号を持って学校だよりを終了させていただきます。長い間、大変ありがとうございました。

◇お礼◇ 2月10日の朝は前夜から雪が降り積り、歩道も歩けない状態でした。そのような状況をご覧になった1年4組芳賀愛斗君のおじいちゃんが、機械を操作して歩道の雪を綺麗に除雪してくださいました。お陰様で生徒達は除雪された歩道を歩いて登校できました。大変ありがとうございました。

◆◆◆ みなさんに贈る言葉 ◆◆◆

- ※「学問は 生活に役立ててはじめて 本当のものとなる」河井継之助 ※「お行なわざれば 知らざると同じ (何もなさんこと なさんとしないこと)」吉田松陰
- ※「心が変われば 行動が変わる、行動が変われば 習慣が変わる、習慣が変われば 人格が変わる、人格が変われば 運命が変わる」元ヤンキース 松井秀喜 ※「これをやるのが当たり前だと思っていれば 苦しいとか 辛いとか感じません」天才騎手武 豊

《 校長のつぶやき 》・ ・ もっと人間らしく五感を働かせよう! ~ 「身近なものをよく見よう」・ ・

- 偏った食生活習慣が、物事への取り組み方に大きく影響を与えます。例えば、好き嫌いが激しい人は、興味があることには熱心に取り組むが、苦手なことには飽きやすい傾向を示すと言われます。それに比べ、バランスのよい食事を心掛ける人は、物事への取り組み方も根気強く、丁寧であると言われます。
- 最近、気になることは、いつもスマホを持ち歩き、暇さえあれば画面に指を這わせる行為が、頻繁に生活の中で観られることです。視線はいつもスマホの画面を見詰め、指を動かし、夢中になる行為が、実は非常に危険であり、マナーを逸した行為であることは、誰もが認めることです。
食事中でも会話は途絶え、仲間が集い親しげに見えても実は気持ちはバラバラであったりしています。また、自転車に乗りながら音楽を聞いたり、メールに夢中になったりして、事故を起こす事例もあちらこちらで聞かれます。子ども達も家庭に帰ればラインやメールに夢中になる。こうした生活がどんな影響を及ぼすかは、様々な事例研究で明らかになっています。
- 私が尊敬する良寛さんは、托鉢行脚の間にも自然を観察し、瞬時の変化を俳句に読んでいます。良寛：「裏をみせ 表をみせて 散るもみじ」〔解説：今まさに枝から離れた一枚のもみじの葉。くるくる、ひらひらと舞いながら、真っ赤なもみじが 裏も表も同じ色(裏表のない生き方)を見せながら散っていく。〕日本人は昔から、17文字に句いや景色、感触及び人の生き方などを託して表現する技術を磨いてきました。もっと日常生活の中で、日々変化する自然に目を向けながら生きることを大切にしてほしいと思います。これからは、一人一人が自分に合った過ごし方を見つけて、ゆとりを持って生きていくことが大切になると思います。